

## 2022年7月:松本山雅FCユースアカデミーへタオル寄贈

- 地域の若者・女性活躍やスポーツ振興を目的とし、チームタオルスポンサーにて松本山雅FCトップチームに提供しているオリジナルタオルと同デザインのタオル計214枚を、次世代を担うU-18、U-15、U-14、U-13、U-12、U-11、U-10、レディースU-15の皆様へ寄贈



当社経営企画課 濱野から株式会社松本山雅 神田社長へタオルをお渡ししている様子



タオルを手に広げているユースアカデミーU-11選手の皆様



タオルを手に広げているユースアカデミーU-14選手の皆様

## 2021年4月:松本山雅FCユースアカデミーへタオル寄贈

- 地域の若者・女性活躍やスポーツ振興を目的とし、チームタオルスポンサーにて松本山雅FC トップチームに提供しているオリジナルタオルと同デザインのタオル計210枚を、次世代を担う U-18、U-15、U-12、レディースU-15の皆様へ寄贈



ユースアカデミー選手達へのタオル寄贈の様子

## 2020年:新型コロナウイルス流行

- 病院内におけるコロナ罹患者用に廃棄可能な衣類・タオルを提供し、看護師による消毒業務の削減・二次感染防止を支援
- コロナ禍で不足した消耗品等の物資を、病院・介護施設に協賛
- エムスリー株式会社の「新型コロナウイルス対策支援」に賛同し、最前線である医療機関に対してマスク200万枚を約15,000の医療施設に無償提供(出典:エムスリー株式会社HP)



## 2020年7月:令和2年7月豪雨

- 甚大な被害を受けた熊本県の球磨川流域のCSセット導入施設を対象とし、被災者へCSセットを無償提供



写真提供:(一財)消防防災科学センター  
「災害写真データベース」

## 2019年10月:令和元年東日本台風

- 長野県の千曲川流域のCSセット導入施設において、当社社員延べ23名による8日間の復旧支援活動を実施(堆積土砂・泥等の撤去・機材の洗浄等)
- 福島県の阿武隈川流域において、当社と提携するリネン業者が被災し機能を停止したため、近隣県の提携リネン業者からタオル類・患者衣・肌着を買い取りおよび一部資材の寄付をいただき、被災したCSセット導入施設へ輸送(衣類約1,650枚、タオル約2,000枚)同市内にあるリネン業者に洗濯を依頼し、同社にて集配作業を実施
- 上記地域の被災したCSセット導入施設へ支援物資の提供(水、衣類、タオル、軽食、消耗品等)
- 上記地域の被災したCSセット導入施設および被災された方がCSセットをご利用になった場合、一部期間の利用料金を無料化



当社社員の復旧支援活動、資材の輸送の様子

## 2019年9月:令和元年房総半島台風

- 千葉県の災害拠点病院やCSセット導入施設へ、支援物資(水、食料品、タオル類、消耗品等)を当社近隣拠点より輸送および施設訪問  
他地域(西日本)から、支援物資を郵送(水、タオル類、食料品、消耗品等)



写真提供:(一財)消防防災科学センター  
「災害写真データベース」

## 2018年9月:平成30年北海道胆振東部地震

- 道内の被災したCSセット導入施設へ、松本本社および東北地域のグループ会社(旧エルタスク)より救援物資の輸送、おむつ等の紙類および食料品を無償提供

## 2018年7月:平成30年7月豪雨

- 広島県・岡山県・愛媛県のCSセット導入施設において、被災された方がCSセットをご利用になった場合、一部期間(約27日間)の利用料金を無料化
- CSセット導入施設および避難所へ、支援物資を無償提供(水、消耗品、日用品、紙類、簡易トイレ等)

## 2016年4月:平成28年熊本地震

- 日本赤十字社を通じ、お見舞金100万円の寄付
- 熊本県・大分県のCSセット導入施設において水や食料、紙類等の救援物資を提供
- 熊本県におけるCSセット導入施設および熊本県における被災した旨の申し出をいただいた方がCSセットをご利用になった場合、一部期間の利用料金を無料化



救援物資等の輸送時の様子



支援物資等の輸送時の様子



写真提供:(一財)消防防災科学センター  
「災害写真データベース」

## 2011年3月:平成23年東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)

- 【東日本応援プラン】をつくり、CSセット導入施設において被災された方がCSセットをご利用になった場合、利用料金を無料化



写真提供:(一財)消防防災科学センター  
「災害写真データベース」